

記載例

(様式1)

公用旅券発給調書

(機関名 国立大学法人 大学)

旅券発給対象者	氏名	所属・職名	
	文科 太郎	国立大学法人 大学 教授	
渡航事務担当者氏名	大学 部 課 係 電話 00-0000-0000 (直通) メールアドレス soumu@u-kokuritsu.ac.jp		
旅券又は口上書を必要とする期限	令和元年 8月 1日 (木)	口上書の要否	要 不要
公用旅券の受領方法	送付 業者委託 その他 ()		
送付希望の場合に記載 送付先	〒 申請の際は上記宛先を記載したシールを同封ください		
業者委託の場合に記載 委託業者名	業者名 株式会社 支店営業課 担当者名 (ふりがな) 田中 (たなか) 電話 00-0000-0000 (受付時間 9:00~17:00)		

コメントの追加 [A1]: 発給対象者1名ごとに作成してください。
複数名の記載不可

コメントの追加 [A2]: 個人ではなく組織アドレスを記載してください。(可能であれば結構です)

コメントの追加 [A3]: 査証取得にかかる日数等、必要な期間を逆算し受領の期限を記載してください。
この期限の20営業日前までに、不備のない書類を文科省にご提出ください。

コメントの追加 [A4]: 旅券等の発給が完了次第、文科省担当者から委託業者に来庁可能日時をお知らせしますので、渡航事務担当者は、その旨委託業者に事前にご連絡ください。

以下、文部科学省記載

交付年月日	年 月 日
受領者名	

文書記号 : 第 号 番 号	旅券申請: 年 月 日
受 付: 年 月 日	発給月日: 年 月 日 旅券番号:
起 案: 年 月 日	発給月日: 年 月 日 同伴者旅券番号:
決 裁: 年 月 日	

記載例

(様式2)
大総第000号
令和元年5月7日

文部科学省大臣官房人事課長 殿

国立大学法人 大学長
国立 一郎

公用旅券の発給請求の申請について(依頼)

下記のとおり、職員を海外へ出張させたいので、公用旅券の発給請求を申請します。

記

- 職・氏名 国立大学法人 大学 教授 文科 太郎
准教授 文科 花子
- 目的国 アメリカ
- 目的 国際協力機構(JICA)のプロジェクトである「支援プロジェクト」に高等教育の専門家として参加するため
- 期間 令和元年9月1日 ~ 令和2年3月31日
- 旅費の出所 渡航費 独立行政法人国際協力機構
滞在費 同上
- 理由 渡航目的が平成16年3月15日付領旅第2739号1.(4)に該当するため(国立大学法人の請求)

コメントの追加 [A1]: 2以降の記載内容が同一であれば複数名を記載いただいて結構です。

コメントの追加 [A2]: 経由国の記載は不要です。

コメントの追加 [A3]: 必要な情報を簡潔にわかりやすく記載ください。

コメントの追加 [A4]: 外務省通知を確認し、公用旅券発給の用務(渡航目的)で該当するものを記載ください。
文科所管独法の場合
「渡航目的が平成13年3月29日付領旅合第453号1.()に該当するため(独立行政法人の請求)」

以上

(様式3)

記載例

日 程 表

(機関名・職名) 国立大学法人 大学 教授
(氏 名) 文科 太郎

令和 年 月 日	発着地名(国名)	訪 問 先	滞在日数	用 務
元年9月1日	成田/東京(日本) ABC012便 01:23 発 ワシントン(米国) 12:34 着 ワシントン 陸路 ボルチモア	州立 大学	211日	国際協力機構 (JICA)のプロジェクトである「 支援プロジェクト」に 高等教育の専門家 として参加
2年3月30日	ボルチモア 陸路 ワシントン		1日	
2年3月31日 【予定】	ワシントン(米国) 【搭乗便未定】 成田/東京(日本)		(1日)	

コメントの追加【A2】: (様式2)公用旅券発給依頼書の「3.目的」と記載内容を一致させてください。

コメントの追加【A1】: 帰国日及び搭乗便が未定の場合は予定を記載してください。

(様式 4 - 1)

記載例

大総第 000 号
令和元年 5 月 7 日

文部科学省大臣官房人事課長 殿

国立大学法人 大学長
国 立 一 郎

派遣期間延長に伴う数次往復用公用旅券の発給について（依頼）

コメントの追加 [A1]: 新規発給を必要とする事由を記載
ください。

この度、下記のとおり現在海外派遣中の者について、派遣期間を延長した
ので、数次往復用公用旅券の新規発給につき、よろしくお取り計らい願いま
す。

なお、公用旅券の名義人が辞職又は退職したとき、当該名義人に係る国の
用務が終了したとき、当該旅券の効力が失われたときは、遅滞なく旅券を返
納します。

記

- 職名及び氏名 国立大学法人 大学 教授 文科 太郎
- 派遣先 アメリカ
- 派遣目的 国際協力機構（JICA）のプロジェクトである「 支
援プロジェクト」に高等教育の専門家として参加するため
- 新規発給が必要な理由
プロジェクトの継続採択により、派遣期間が 年 月 日まで延長と
なったことから現在所有している旅券の有効期限（ 年 月 日）を
超過するため

5 手続公館 在サンフランシスコ日本国領事館

以上

コメントの追加 [A2]: 各法人等において確認し記載く
ださい。

(様式 5)

記載例

大総第 000 号
令和元年 5 月 7 日

文部科学省大臣官房人事課長 殿

国立大学法人 大学長
国 立 一 郎

公用旅券の返納について

標記のことについて、下記公用旅券を返納いたします。

なお、当該旅券の記念保存を希望しますので、消印後還付くださいますようお願い
します。

記

- 職名・氏名（旅券表記） 国立大学法人 大学 教授
文科 太郎（TARO MONKA）
- 旅券番号 QB00000000
- 発行年月日 2019年6月3日
- 返納事由 帰国使用済のため
- 事務担当者 大学 部 課 係
電話 00-0000-0000（直通）

以上

コメントの追加 [A1]: 記念保管を希望しない場合は、当該箇所は削除ください。

コメントの追加 [A2]: 一往復用公用旅券の発給を受けて
用務終了後帰国した場合の記載例。その他の返納事由と
しては、以下の例をご参考ください。

- ・旅券名義人退職（年月日付け）のため
- ・旅券の有効期間満了のため
- ・残存期間不足のため
- ・派遣用務終了のため 等

コメントの追加 [A3]: 文科省から返納書に関する問い合わせを行う際に使用する他、記念保管を希望する場合の
送付先とさせていただきます。